動物実験（教育研修）計画の課題名：

交配させる親系統と、生まれてくる子系統をもれなく記載。

繁殖計画を説明する上で理解の助けとなる説明。

繁殖および系統維持のみに使用：『繁殖』を選択。

実験に使用：『実験』を選択。
実験に必要な個体数以上の産仔が見込まれる場合、余剰個体の処置方法を記載。

いずれの用途にも用いない：『使用しない』を選択し、処置方法を記載。

親として使用する場合には『親』を、繁殖により得られる産仔である場合には『子』を選択。

繁殖用マウス使用匹数算出シート

実験番号	動物種	系統	特性	区分	用途	匹数（♂）	匹数（♀）	他の実験での使用予定
1	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2flox/+)	繁殖用（親）	親	繁殖	0	24	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/- :: CreERT2)	繁殖用（親）	親	繁殖	12	0	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2flox/+)	産仔（系統維持及び次回交配に使用）	子	繁殖	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2flox/-)	産仔	子	使用しない	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/+)	産仔	子	使用しない	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/-)	産仔	子	使用しない	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2flox/+ :: CreERT2)	産仔	子	使用しない	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2flox/- :: CreERT2)	産仔（実験に使用）	子	実験	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/+ :: CreERT2)	産仔	子	使用しない	36	36	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/- :: CreERT2)	産仔（系統維持及び次回交配に使用）	子	繁殖	36	36	無
	繁殖計画	Gata2flox/-::CreERT2 の繁殖のために、Gata2flox/+(メス:6 匹)と Gata2+/-::CreERT2 (オス:3 匹)を交配させる(計 6 ペア)。1 回の産仔数を 8 匹、産仔性比は 1：1と仮定する。Gata2flox/-::CreERT2 は 1/8 の確率で産まれることから、1 回の実験に必要な 18 匹を用意するために は合計 18 回の出産が必要となるため、それぞれ3 回の交配を行う。産仔数が満たない場合には交配を繰り返す。これを実験 4 回分行う。同腹仔として産まれた Gata2flox/+とGata2+/-::CreERT2 マウスは、系統維持及び次回の交配に用いる。他の遺伝子型の個体については、離乳前に安楽死させる。						

実験番号	動物種	系統	特性	区分	用途	匹数（♂）	匹数（♀）	他の実験での使用予定
2	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/-)	繁殖用	親	繁殖	1	2	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/+)	産仔	子	使用しない	2	2	無
	マウス	C57BL/6JJcl (Gata2+/-)	産仔	子	繁殖・実験	4	4	無
	繁殖計画	胎仔解析に用いるGata2+/-の繁殖および系統維持のために使用する。Gata2+/-メス個体2匹とオス個体1匹を交配させ、産仔を得る。1回の産仔数を8匹、**産仔性比は1**：**1**と仮定すると、gata2+/-は胎生致死となるため、出生個体としてGata2+/+が4匹（2x2）、Gata2+/-が8匹（4x2）含まれる。Gata2+/+は離乳前に安楽死させ、Gata2+/-のみを飼育し、**系統維持と**実験に供する。						

実験番号	動物種	系統	特性	区分	用途	匹数（♂）	匹数（♀）	他の実験での使用予定
4	マウス	BDF1 (Gata2mut/+)	ゲノム編集マウス	親	繁殖	1	1	無
	マウス	BALB/cAJcl	戻し交配用マウス	親	繁殖	3	3	無
	マウス	BALB/cAJcl (Gata2mut/+)	産仔・ゲノム編集マウス	子	繁殖	24	24	有 (実験〇〇)
	マウス	BALB/cAJcl	産仔	子	使用しない	24	24	無
	繁殖計画	目的のゲノム編集マウスの純系化のために戻し交配を行う。**F0世代**のゲノム編集マウス（Gata2mut/+）が2匹得られると想定し、純系化のために野生型BALB/cAJclそれぞれ1匹と交配させる。Gata2mut/+は1/2の確率で生まれることから、1回の産仔数を8匹、性比を1:1と仮定すると、次世代の産仔にはGata2mut/+が4匹、野生型が4匹含まれる。第6世代までGata2mut/+が1ラインにつき24匹（4x6）、2ラインで合計48匹が得られる。同数得られる野生型産仔は離乳前に安楽死させ、Gata2mut/+を再度野生型BALB/cAJclと交配させることで純系化を進める。野生型BALB/cAJclは2回の交配までで世代交代させるため、第6世代まで1ラインにつき3匹、2ラインで合計6匹使用する。次世代が生まれた後のGata2mut/+は実験〇〇に供する。						

実験番号	動物種	系統	特性	区分	用途	匹数（♂）	匹数（♀）	他の実験での使用予定
	繁殖計画							